

# 松田町第5次総合計画の基本策定にあたり



質問者  
齋藤 永 議員

基本計画の作成に当たり財政難の中、大変ご苦労されておると推察するが、次の事をお聞きしたい。

- ① 『まなびやびくろプロジェクト』の中で小学校のあり方を検討して地域にあった教育体制作りとあるが、少人数の学級や学年がある現状どのようにお考えか。
- ② 『創造性豊かな活力を育む』とある商工業のあり方ですが、厳しい社会経済情勢の現状、町民の生活を支える身近なものであり、また観光商業としてサービスが求められる中どのような活性化をお考えか。
- ③ 『将来人口フレーム』

の中では11,000人と想定されているが、定住化策による住み良さを目標としているが、人口は減少している。人口増加策はどのようにお考えか。

**A** 学区の廃止はしない  
回答（教育長）



① 寄地区と松田地区の学区の廃止はせずに、魅力的な教育の展開、交流連携方策を採り入れながら、今後全体を視野に検討していく。



松田小学校

② 商業の活性化は必ずかしい問題もあると思うが、農業と商業と観光を絡めた活性化を図り、追加支援策を含め補助金等により支援していく。

③ 人口増加策は砂利線跡地や旧家畜保健所跡地、未利用町有地等を



質問者  
小澤 啓司 議員

## 教育施設のあり方を問う

② 商業の活性化は必ずかしい問題もあると思うが、農業と商業と観光を絡めた活性化を図り、追加支援策を含め補助金等により支援していく。

住宅地にし、若者向けに税の減免や住宅融資の補助制度の整備をしていく。町営住宅を若い世代向きに整備をしていく。また空家情報をホームページで紹介したり、町道の整備や高齢者の移動のためのデマンドバスの定着を図る。

**A** 平成30年以降に建設を見込んでいる  
回答（町長）



松田小学校は昭和48年の建設で、老朽化が進んでいる。大規模な改修工事を行ったが改善が望め

ない。概算事業費は開成南小学校（約22.6億円）を参考に、来年度から積み立てを始める。平成30年頃までに事業費の30%を確保したい。その為にも、行財政改革はしっかりと進めてゆく。児童数は現在508人だが、減少は続いている。教育の重要性を鑑み、新校舎の建設を10年後には実現したい。

